

群馬の野菜安全です

昼市で消費者に訴え

野菜ソムリエが 県内農家支援 食べ方提案し販売

風評に惑わされない賢い消費者を育てよう。日本野菜ソムリエ協会公認の「野菜ソムリエ コミュニティ群馬」の会員有志たちは、東京電力福島第一原子力発電所の事故で風評被害に苦しむ県内の野菜農家を支援するため、大澤正明知事の県産農産物安全宣言をコピーし、昼市で配るなどの啓蒙(けいもう)活動を始めた。



宣言文のコピーを顧客に手渡ししながら県産農産物の安全性を説明する会員有志

「野菜・果物は私たち番。風評に惑わされないが生きていく上で欠かせない消費者を育てよう」

賢い消費者を育てよう」

啓蒙活動を積極的に進めることを決めた。

を一人でも多く増やそう」と、会員有志は昨年

17日には顧客に県の放射性物質調査結果を説明

11月から特定非営利活動法人(NPO法人)高崎

が8日に出した県産農産物の安全宣言文のコピー

げん気堂が高崎市を中心商店街で主催する昼市に出店している。毎月第3

をテント前で配った。JA群馬中央会の今井あさ

日曜日に開かれるフリーマーケットには、仲間の

子さん、JA全農ぐんまの高橋未樹子さんから会員

生産者がトマトや山ウドなど10品目以上を運び込

有志10人が応援に駆け付けた。

み、会員有志がおいしい食べ方をアドバイスしながら販売している。

今井さんらは「群馬の野菜には安全宣言が出て

だが、原発事故で県産野菜の一部が一時期、出荷停止になると、流通する

上がりください」と道行く人に訴えた。キュウリ

他の野菜まで風評被害で消費者から敬遠された。

事務局長の関口博さんらは一私たちは生産者に

助けられている。その恩返しをしたい。正しく理解

でも風評被害が防げばうれしい。長く続

解してもらうには対面販売で訴えていくのが一

関口さんは「この活動で少しでも風評被害が防

た。事務局長の関口博さんらは一私たちは生産者に

助けられている。その恩返しをしたい。正しく理解

でも風評被害が防げばうれしい。長く続

解してもらうには対面販売で訴えていくのが一

関口さんは「この活動で少しでも風評被害が防

げばうれしい。長く続

解してもらうには対面販売で訴えていくのが一

関口さんは「この活動で少しでも風評被害が防

げばうれしい。長く続

解してもらうには対面販売で訴えていくのが一

関口さんは「この活動で少しでも風評被害が防

げばうれしい。長く続

解してもらうには対面販売で訴えていくのが一

関口さんは「この活動で少しでも風評被害が防

げばうれしい。長く続

解してもらうには対面販売で訴えていくのが一